



Title	チョコレート包装のイラストに見る「モンゴル意識」
Author(s)	三上, 喜三男
Citation	モンゴル研究. 2025, 34, p. 58-61
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/103479
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

《雑 感》

チョコレート包装のイラストに見る「モンゴル意識」

三上 喜美男

モンゴルみやげにお薦めしたいのが「ゴールデンゴビ」のチョコレートだ。一昨年、ウランバートルなどを訪ねた帰りにモンゴル在住の編集記者・近彩さんに袋詰めをいただき、さらに空港で24個入りの箱詰めを買い求めた¹⁾。ベルギーの技術を導入したというミルクチョコレートは、日本製と比べても遜色なくおいしい。あちこちで配ったら好評だった。

「推し」の理由はおいしさだけではない。一口サイズのチョコの包装が楽しい。モンゴルの民族衣装がカラフルなイラストで紹介されているのだ。それも「モンゴル」を構成する12のエスニック・グループ²⁾(文化や歴史を共有する人々の集団)の名称付き³⁾で(写真)。一つ一つの異なる図柄から文化の多様性が学べる。



-
- 1) 製造販売元“Golden Gobi”的ホームページ(<https://goldengobi.mn>)によると製品名は《ЭСГИЙ ТУУРГАТАН》で16500トゥグルク。通販でも購入できる。
 - 2) 「民族」の下位分類は「部族」が一般的だが、英語 “tribe” のように「未開」の集団に対する差別的な表現ともされる。国立民族学博物館編「世界民族百科事典」では「エスニック・グループ」を代替表現としており、本稿はそれにならう(12P「エスニシティ」の項目)。
 - 3) チョコの包装にある12のエスニック・グループは次の通り。“TORGUUD”, “MYANGAD”, “BURIYAD”, “URIANKHAI”, “UULD”, “KHALKH”, “ZAKHCHIN”, “KAZAH”, “DURVUD”, “BAYAD”, “UZEMCHIN”, “BARGA”。なおモンゴル国の大学生たちがエスニック・グループにどんな意識を持っているか、現地の大学で教える近さんに尋ねてもらった。日を改めてその内容を検討したい。

モンゴル国のマジョリティ集団は「ハルハ」で、包装には「KHALKH」とローマ字表記されている。ただしチョコの箱では12グループの一つに過ぎない。国内だけでなく中国内モンゴル自治区の「ウジムチン(UZEMCHIN)」や「バルガ(BARGA)」、ロシアのブリヤート自治共和国を構成する「ブリヤート(BURIAD)」なども同等に紹介されている。

チョコの箱を一覧すれば、モンゴル系の民族が国境を超えて各地に存在していることが分かる。それぞれのイラストが「モンゴルとは自分たちのことだ」と胸を張っているようである。モンゴルの子どもたちがこのチョコパッケージを手にすれば、国境外にも自分たちの同胞、仲間がいるのだと心に刻むかもしれない。

その一つ、「ウリヤンハイ(URIANKHAI)」はモンゴル国北に隣接するロシア・トゥバ共和国の主要民族トゥバ人を含む。トゥバ語はチュルク系の言語だが、モンゴル国にも住んでいるからか、同じく国内のチュルク系「カザフ(KAZAH)」とともにパッケージの仲間に入っている。ユーラシアの草原で文化と歴史を共有してきた関係性が、言語や血統などを超えた「モンゴル」という紐帯意識となっているのだろうか。「ウリヤンハイ」や「カザフ」の人たちがどう受け止めるかも知りたいところだ。

目を引いたのは「トルグート(TORGUUD)」である。オイラート系のエスニック・グループで、モンゴル版ウィキペディアには「ロシア連邦のカルムイク共和国、中華人民共和国の新疆ウイグル自治区、甘肃省、内モンゴル自治区アラシャー盟エズニー旗、モンゴル国ホブド県ボルガン村に居住する(Торгуудууд одоо үед ОХУ-ын Бүгд Найрамдах Халимаг Улс, БНХАУ-ын Шинжаан-Уйгурин Өөртөө Засах Орон, Ганьсу муж, БНХАУ-ын Өвөр Монголын Өөртөө Засах Орны Алаша аймгийн Эзнээ хошуу, Монгол улсын Ховд аймгийн Булган суманд оршин суудаг)」⁴⁾とある。

カルムイク共和国はカスピ海沿岸にあるロシア内の自治共和国で、「トルグート」系のカルムイク人が人口の多数を占める。17世紀にモンゴルの西方から移り住み、ウラル山脈以西、ロシアのヨーロッパ地域にとどまって居住する。チョコに「カルムイク」の表記はなかったが、「トルグート」がその存在を伝えているとも言える。

はるか遠い地に暮らす「同胞」「同族」の存在も、モンゴル国に住む人々の意識の中にある。そのことを12個の小さなチョコの包みは教えてくれるように思える。

ロシアのウクライナ侵攻開始から約半年後の2022年9月23日、エルベグドルジ元モンゴル大統領がSNSのユーチューブで英語のビデオメッセージを公表した(末尾にユーチューブHPから取った英語全文)。メッセージは「世界モンゴル連盟理事長」の立場でなされ、ロシアのプーチン大統領に対する停戦の呼び掛けとともに、ロシア国内の少数民族ブリヤート、トゥバ、カルムイクの「モンゴル人」にも寄せられた⁵⁾。

エルベグドルジ氏は面識のあるプーチン氏に対して「無慈悲な殺りくと破壊をやめるよう」強く迫った。モンゴルは旧ソ連の時代からロシアとは同盟関係にある。そのモンゴルの大統領経験者としては、極めてストレートな、異例の声明と言える。

特筆すべきは、兵役を回避するためロシアから逃れようとする人々に対して「世界が両手を開き、心を込めて迎え入れる」と語り掛けたことだ。

4) <https://mn.wikipedia.org/wiki/Торгүүд>

5) <https://www.youtube.com/watch?v=q2qDzicmvxM>

ロシアでは非ロシア系民族が多く戦地に動員されているとされる⁶⁾。エルベグドルジ氏は、モンゴル系を含む少数民族が「最も苦難を被っている」と指摘した。さらにブリヤートやトウバ、カルムイクの「モンゴル人」が「多大な苦難を被り」「戦闘の消耗品(cannon fodder =火砲の餌食)として扱われてきた」と懸念を示し、「何百人も負傷し、何千人も命を落としている」という危機的な状況にも言及した。

そうした切迫した事態を受けて「私たち(モンゴル国の)モンゴル人もまた(世界と同じく)両手を開き、心を込めて(モンゴル人を)受け入れる」と明言したのである。

報道によればロシアからはロシア系を含む多くの若者が徴兵などを忌避してジョージアなど隣国に逃れている⁷⁾。モンゴル国にもブリヤート、トウバ共和国から越境するモンゴル系の若者が絶えないという。モンゴル国の市民の支援を受けて今後の身の振り方を模索する姿が、日本でもドキュメンタリー番組で報道された(「国民と国家 ある日 戦争が始まつたらー」中京テレビ制作)⁸⁾。取材したのは中京テレビで記者を務めるモンゴル人のゾーラ(オユーンチメグ・ホンゴルズル)氏である。

カルムイクからの越境者については、近彩さん発行の情報誌「今日のモンゴル コンバイノー」20号(2022年発行)でも「命がけの脱出7000⁹⁾！」などの見出しとともに報告されている。バスと鉄道を乗り継いでモンゴル国内に身を寄せた男性7人に、近さんは偶然出会った。話を聞くと、全員が「行ける所へ行くしかない」と着の身着のままで国を出て、一部の人は家族を残しての、まさに命がけの「エクソダス(脱出)」だったという⁹⁾。

モンゴル政府はこれらモンゴル系の人々の受け入れに関して公式な見解を表明していない。ウクライナ侵攻を継続する隣の大ロシアへの配慮か、表だった動きを控えているように見える。むしろロシアが兵役逃れへの締め付けを強めれば、モンゴルなど近隣諸国も入国管理強化を余儀なくされる可能性がある。

文化やルーツを共有する「同胞」に心を寄せて親しみを抱く。それは人間が自然に抱く心情と言える。ただ同族意識には「他者」との違いを強調する側面があり、緊張が高まれば民族の連帯意識が現状変更を目指す政治的な動きとして、影を落としかねない「危うさ」をはらむ¹⁰⁾。多くの民族が国境に分断された形で存在する複雑な国際社会の現実を、冷静に見詰める目を持つべきかもしれない。

2025年の旧正月、モンゴル国を訪問した友人の写真家・後藤剛氏に依頼して民族衣装のチョコの箱詰めを新たに買って来もらった。12種類のイラストに包まれたチョコが変わらず箱の中に並んでいた。モンゴル国だけ見ても民族文化は実に多様で、まだ描かれていないエスニック・グループもあるはずだ。無邪気なイラストが独立国・モンゴルに暮らす現代の「モンゴル意識」を反映しているとすれば、イラストの種類がもっと増えたらいい。そんなことを考えながら、にぎやかなパッケージを想像してみた。

6) 例えば東京新聞「ウクライナ侵攻でロシア側戦死者に少数民族が目立つのはなぜなのか 現地で実感した連邦支配のいびつき」<https://www.tokyo-np.co.jp/article/205896>

7) 例えば日本経済新聞「動員令でロシア混乱 若者ら出国相次ぐ、政権不満も」<https://www.tokyo-np.co.jp/article/205896>

8) 初回放送は2023年4月15日。https://www.youtube.com/watch?v=AiMe5z7_4Ms

9) 「コンバイノー」20号の記事によると、7人はカザフスタンを目指したが、国境検問所の長蛇の車列を見て断念し、ウランバートルに目的地を変えた。5人はさらに第三国への出国を目指し、2人は「いずれ帰国する」と語った。「危険」を理由に写真撮影は拒否したという。

10) 民族意識は共有する文化などが「われわれ」を定義する線引きの基準として働くが、同時に他の人々=「彼ら」と比べてどこが違うかというネガティブな面を際立たせる。「他の民族を排除する象徴として文化が用いられる」危険性がある(「世界民族百科事典」22、23P「民族と文化」の項目)。支持を集め、「日本人ファースト」の言説が排外主義をかき立てる「負の側面」に、私たち自身も留意したい。

ただし民族意識の発揚は、たとえ素朴な次元の表明であっても光の部分ばかりでないことを銘記する必要があるだろう。甘いミルクチョコが苦く感じる事態はあってほしくないし、避けねばならない。とりわけ今日のような、きなくさい国際情勢下では。

《エルベグドルジ元モンゴル大統領英語メッセージ全文》

Message from Elbegdorj Tsakhia, President of the World Mongol Federation

Good Morning, Good Day, and Good Evening to all my friends who are watching me and listening to me. I am one of the eight sons of herdsmen. I am one of you, who dearly loves freedom and peace. I am one of the proud citizens of a free and independent Mongolia.

I have a simple message to President Putin: “Mr. President stop the war. Прекратите войну. I met with you on many occasions. You have the power to stop this war right now. Now it's time to make peace. My heart is breaking apart when I see Russia. Since you started this war Russia has been drowned in fears, full of tears. Your mobilization brings oceans of suffering. Mr. President, stop your senseless killings and destruction.”

I have a message for those who are fleeing Russia. The World will meet you with open arms and hearts. Today you are fleeing brutality, cruelty, and likely death. Tomorrow you will start

freeing your country from dictatorship. I know since the start of this bloody war, ethnic minorities who live in Russia suffered the most. The Buryat Mongols, Tuva Mongols, and Kalmyk Mongols have suffered a lot. They have been used as nothing more than cannon fodder. Hundreds of them are wounded. Thousands of them have been killed. We the Mongols will meet you with open arms and hearts as well.

I also have a message to those being forced to fight Putin's war in Ukraine. Don't shoot Ukrainians. Don't shoot your sisters and brothers, children and elders. Do not kill that country. Do not kill their freedom. Ukraine has a full right to exist.

Finally, I have a message to the brave people of Ukraine and to President Zelensky. Thank you for your bravery and leadership. The best side of the world is with you. You are an inspiration. When you win, all people will win. No dictatorship lasts forever. The united will of people's freedom will always prevail.

Slava Heroyam

Ulaanbaatar, Mongolia

2022.09.23

(quoted from Youtube)

(みかみ きみお)